

## 株主の皆様へ

### ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

当社第57期中間報告書「ANA VISION」をお届けするにあたり、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

当中間期においては、国内線旅客事業、国際線旅客事業、貨物事業ともに需要が堅調に推移し、過去最高の営業収入となりました。高値の続く航空機燃料費をはじめとする営業費用も増加したため、営業利益・経常利益は前年同期比で微減となりましたが、当期純利益も過去最高となりました。

当下半期から、5年ぶりに成田～シカゴ線を再開し、中国線等の増便も行って、国際線路線ネットワークの拡充を図ります。

また、ホテル事業では、12月1日から世界最大のホテルチェーンであるインターチェンナル ホテルズ グループと資本提携を行い、来年4月に東京全日空ホテルをANAインターチェンナルホテル東京にリブランドすることを皮切りに、合同ブランドでホテル運営をしていくことに致しました。

ANAグループは今後ともたゆまぬ挑戦を続けて参ります。株主の皆様におかれましては、変わらぬご指導とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2006年11月

代表取締役社長 山元 峰生



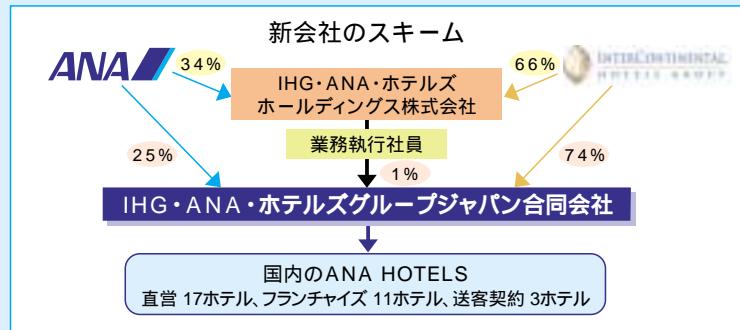
## トピックス

### ホテル運営でインターチェンナル ホテルズ グループと資本提携



ANAグループは去る10月23日、世界最大規模のホテルチェーン「インターチェンナル ホテルズ グループ」(以下IHGと称す)と資本提携を行い、国内31か所のANAホテルについて共同で運営を行っていくことを発表いたしました。IHGの持つ卓越したホテル運営のノウハウや世界的なネットワークを活かし、ANAホテルズの価値をより高めていく所存です。また、同時にマイレージサービスでも提携し11月1日からは全世界のIHGのホテルの宿泊でANAのマイルが積算できるようになりました。

具体的には、ANAのホテル運営子会社である株式会社ANAホテルズ&リゾーツを合同会社(LLC)に改組した上で、IHG米国法人子会社の出資を得て「IHG・ANA・ホテルズグループジャパン合同会社」(資本金8億3,000万円)と改称し、共同で運営を行っていきます。さらに共同出資により同合同会社の経営を管理する新会社「IHG・ANA・ホテルズホールディングス株式会社」(資本金2,300万円)を新設しました。



インターチェンナル ホテルズ グループ概要	
本 部	英 国
運営ホテル数	約3,650ホテル
客 室 数	約54万室
ホテルブランド	インターチェンナル ホテルズ&リゾーツ クラウンプラザ ホテルズ&リゾーツ ホリデイ・イン ホテルズ&リゾーツ など
ANAホテルズ概要	
運営ホテル数	国内31ホテル、海外2ホテル
客 室 数	9,664室
*上記にはフランチャイズ、リファーラル(送客)契約ホテルを含みます。	